

平成26年度 学校評価シート

評価領域	進路指導部
------	-------

目標の設定 (Plan)

重点目標	面談を通して難関大学に挑戦する意欲を喚起し、志望達成のための支援をする。
現 状	必要に応じて随時面談を実施しているが、個々の生徒が必要とする時期に十分な面談時間が確保できてはいない。
具体的な目標	各生徒の意志や希望を的確に把握し、進路に関する適切なアドバイスをおこなう。
目標達成のための方策	平常時における生徒とのコミュニケーションを増やすことで、生徒の志望や意志の把握に努めるとともに、年に2回の進路面接週間を設定し面談時間を確保する。

実践 (Do)

具体的な取組状況	必要に応じて随時生徒とのコミュニケーションを深めるとともに、年に2回の進路面接週間を設定する。
達成状況	年2回、それぞれ2週間の進路面接週間は予定通り実施された。

自己評価 (Check)

評価基準	A : 具体的な活動が示され目標を達成できた。 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

自己評価	評価	根 拠
	B	適切なアドバイスをするためには面接週間ばかりではなく、平常時の面談時間を確保することが課題である。また、キャリア教育の視点から、幅広く将来について面談を深めていくことが必要である。

学校関係者評価と意見	評価	意 見
	B○	面接時間を確保するため授業時間短縮で対応。担任・副担任で面接し生徒の志望や意志の把握に努めた。今後は、将来の生き方について考えを深めるような面談が必要である。

改善した実践 (Action)

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	今後も継続的に面談機会を確保するとともに、個々の生徒の状況や志望をよりの確に把握するために、一人ひとりの職員の面談スキル向上を目指した研修等を進めていきたい。
-----------------------	---